



キエー口を使って、生ごみを土に還そう!

みなと高等学園では、**エシカル教育**の一環として、校内に「キエー口」を設置し、学校での昼食時や調理実習で出る生ごみを二酸化炭素と水分に分解し、土に還す取組を行っています。学校で出る生ごみの減量対策や土の再利用に生かされます。

【生産サービス科】国語・数学などの教科では、社会生活や就労を見据え、基礎・基本を重視した内容を学習します。木工・園芸・縫製・製菓などの実習を行い、挨拶と報告、掃除と整理整頓、金銭管理など、社会的・職業的自立に向けて必要とされる力を養っています。

エシカルとは、英語で、「倫理的な」「道徳的に正しい」という意味があります。環境だけではなく、人や社会、地域という自分たちを取り巻くすべてのものに対して、多くの人が考える良識に従って考えよう、行動しようという概念です。

ethical

weblio辞書より

キエー口とは、黒土中に含まれるバクテリアの力を利用し、生ごみを分解して消滅させる生ごみ処理機です。臭いや虫の発生が少なく、投入後、手間がかからないことから注目されています!

1 キエー口の設置



これが、キエー口の本体!



慎重に運びます。



花壇に設置します。



これで、準備OKです!

2 先生方からの説明

日誌には、天気や気温、土の温度、生ごみの量などを毎日記録します。温度計は、よく目盛りを見ましよう!



佐々木真一指導教諭

乾いた黒土を決められた位置まで入れましょう。入れた土は、丁寧にならしていきましょう!



豊田将志実習助手

3 土入れと生ごみの処理



3年生なので、土入れやスコップの扱いは、慣れていました。実習で、自信と体力ができました!

大きい生ごみは、バクテリアが分解するのが難しいらしいよ。できるだけ細かく砕こう!



キエー口によってできた土は、環境園芸班の生徒が学校の畑 (minato農園) やプランターで野菜や花を育てる時に、再利用するそうです。先生方は、「ごみを出さない、水を汚さない、そんな気持ちも育ててほしいです。」と話されていました。循環型社会の実現を目指し、みなと高等学園のチャレンジは、これからも続きます!

